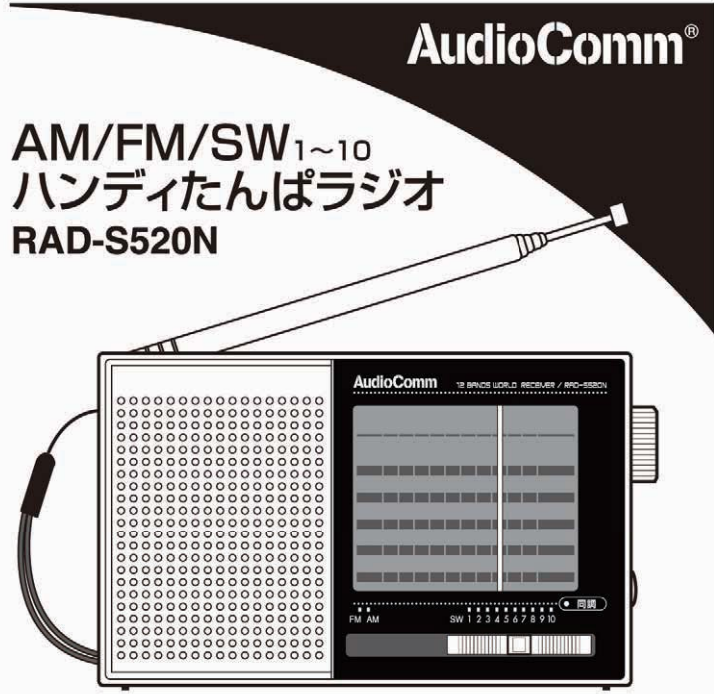




保証書付 取扱説明書

AudioComm
AM/FM/SW₁~10ハンディたんぱラジオ
をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくため、
ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
必ず保管してください。

(キリトリ線)

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
(ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
(ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
(ホ)本書のご提示がない場合
(ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
(ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
(チ)一般家庭用以外(例：業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

主な仕様

受信周波数	AM 530—1605 kHz	
	FM 76.0—108.0 MHz	
受信周波数	SW1 (75m) : 3.80~4.10 MHz	SW6 (25m) : 11.50~12.15 MHz
	SW2 (60m) : 4.65~5.15 MHz	SW7 (22m) : 13.40~13.90 MHz
	SW3 (49m) : 5.85~6.30 MHz	SW8 (19m) : 15.00~15.70 MHz
	SW4 (41m) : 7.00~7.40 MHz	SW9 (16m) : 17.45~18.00 MHz
	SW5 (31m) : 9.40~10.00 MHz	SW10(13m) : 21.35~21.95 MHz
電 源	DC3V 単3形乾電池(LR6/AA)×2本(別売)	
外部電源	DC3V ※適合プラグ径：内径1.5mm、外径3.5mm (ACアダプター別売)	
電池持続時間	イヤホン時： AM受信約144時間／FM受信約142時間／SW受信約142時間 スピーカー時： AM受信約60時間／FM受信約59時間／SW受信約59時間 (アルカリ乾電池使用、音量中程度として)	
外形寸法	幅117×高74×厚27mm(突起物含まず)	
質 量	約150g(乾電池含まず)	
付 属 品	イヤホン、ストラップ(本体に固定)	

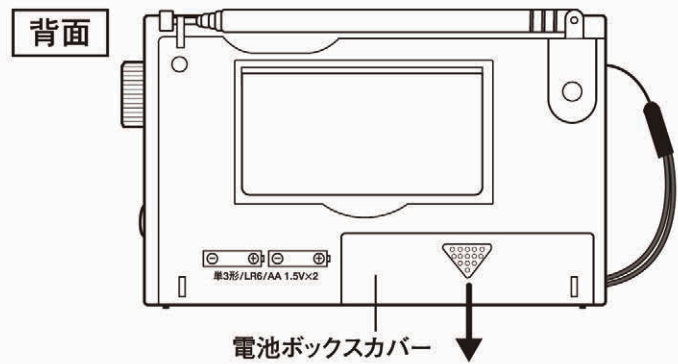
※外觀、仕様は予告なく変更する事があります。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは 0120-963-006 048-992-2735
電話受付	平日 9:00~17:30 土曜 9:00~17:00 日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 土・日・祝日及び年末年始は除きます
07-7928A	

電源について (AC/DC2電源)

1.乾電池での使用方法



- 本体底面の電池ボックスカバーを矢印方向に押し下げて開きます(上図参照)。
- 電池ボックスに、単3形乾電池2本(別売)を入れます。
電池ボックス横に表示されているプラス(+)、マイナス(-)の極性通りに正しく入れてください。
- 電池ボックスカバーを①と逆の手順で閉めると、装着完了です。

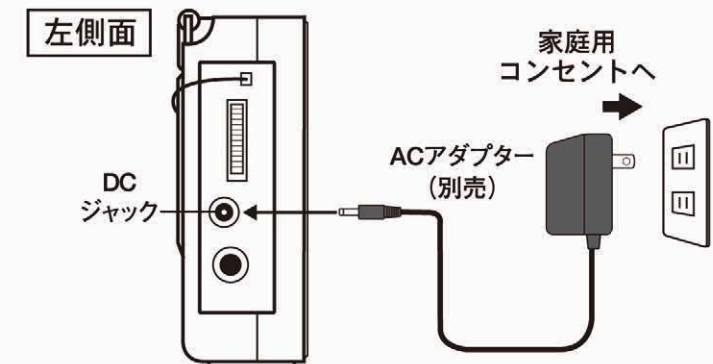
※ご使用時に音が小さくなったり歪む場合は、電池が消耗していますので新しい電池に交換してください。
※本機にはアルカリ乾電池のご使用をお薦めします。
マンガン乾電池、充電式乾電池では使用可能時間が短くなります。
※本機を長期間ご使用にならないときは、電池の液もれを防ぐために電池を取り出してください。

安全にお使いいただくために

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使い方は火災や感電による人身事故につながることがあります。ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

	警告 「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
●乾電池は、充電しない。 電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。	
●家庭用コンセントで使用の際は、指定以外のACアダプター(別売)は使用しない。 発火・火災・発熱・感電などの原因となります。	
●ACアダプター(別売)で使用中に雷が鳴り出したら、ACアダプターのプラグに触れない。 落雷による感電などの原因となります。	
●屋外使用中に雷が鳴り出したら、すぐに使用を中止する。 落雷の原因となります。	
●ACアダプター(別売)のコードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない。 感電、ショート、火災の原因となります。	
●本機を分解、改造しない。 感電、ショート、火災、けがの原因となります。	

2.家庭用コンセントでの使用方法



- 下記の規格の市販のACアダプターを用意します。
DC3V ※極性：センターマイナス
 ※適合プラグ径：内径1.5mm、外径3.5mm
※スイッチング式ACアダプターを使用すると、雑音が発生することがあります。
- ACアダプター(別売)のプラグ側を、本体左側面のDCジャックにしっかり差し込みます。
- ACアダプター(別売)本体を家庭用コンセントへ根元まで確実に差し込みます(上図参照)。
- 自動的に電源が乾電池からAC電源に切り換わります。

※ご使用の際は、市販のACアダプターの取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。

	注意 「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
●湿気やほこりの多い所、油煙や湯気のあたる所には置かない。故障の原因となります。	
●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる所、暖房器具のそばなど、異常に高温になる所に置かない。 故障及び火災の原因となります。	
●電池はプラス(+)とマイナス(-)の表示通りに入れる。 電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。	
●指定以外の電池は使用しない。新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。種類の異なる電池(例:アルカリとマンガン)を一緒に使用しない。 電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。	
●長期間ご使用にならないときは、電池を取り出す。 電池の液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。	
●音量を上げすぎない。 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。	

ラジオ本体のお手入れの仕方

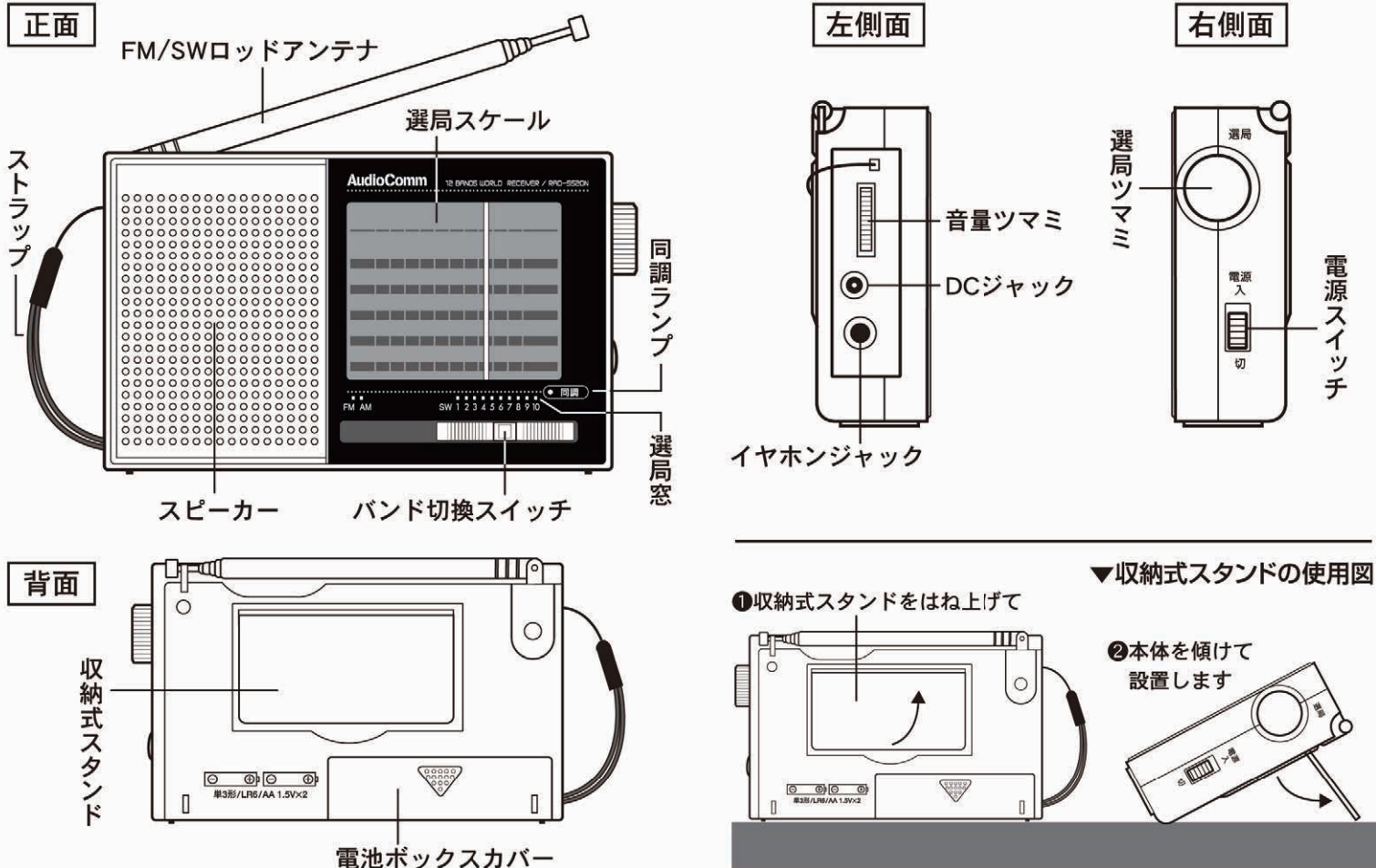
柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を少し含ませてお拭きください。
シンナー・ベンジン・アルコールは、本体をいためる可能性がありますので使用しないでください。

故障かな?と思ったら

下表を参考に点検してください。

現 象	点検方法
音が出ない	・音量が最小になっていないか確認。 ・乾電池の残量を確認(残量がない場合は電池を交換)。 ・イヤホンジャックにイヤホンを接続していないか確認。
雑音が入る	・携帯電話、テレビ、蛍光灯の近くで使用していないことを確認。

Memo



- ① 電源スイッチを「入」側に入ると電源が入ります。
- ② 音量ツマミで音量を調節します。
- ③ バンド切換スイッチで、「AM」、「FM」、「SW1~10」のいずれかを選択します(選択窓に赤色で表示されます)。
※短波放送「SW1~10」のメーターバンドについての詳しい説明は、下段にあります「短波放送について」をご覧ください。
- ④ 選局ツマミを回してお聴きになる放送局に合わせます。
(同調すると同調ランプが点灯します)
※本機はアナログチューナーのため、選局時に選局スケール上の周波数表示と実際の受信周波数が若干ずれる場合がありますのでご了承ください。
- ⑤ ご使用を終える時は、電源スイッチを「切」側に入ると電源が切れます。

本機背面に収納式スタンドがあります。
左図を参照してご利用ください。選局が見やすく卓上で安定した使用ができます。

- AM放送を聞くとき**
本機内部にAM用アンテナが内蔵されています。
本機を放送が一番良く受信できる方角に向けてください。
- FM/SW放送を聞くとき**
FM/SWロッドアンテナを伸ばして、放送が一番良く受信できる方角に向けてください。
- 電車や建物の中で聞くときは**
電波状態が悪い所では受信できないことがあります。
本機をできるだけ窓に近づけてお使いください。
- 音声について**
●本機はモノラル受信機です、ステレオ音声にはなりません。
●本機はTV放送の音声は受信できません。

付属イヤホンのプラグを、イヤホンジャックに接続すると、イヤホンでのリスニングができます。

※イヤホン接続時は、本機のスピーカーから音は出ません。

※プラグを抜く際は、コードではなくプラグを持って抜いてください。

バンド	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	SW6	SW7	SW8	SW9	SW10
メーターバンド(m)	75	60	49	41	31	25	22	19	16	13
周波数 (MHz)	3.80-4.10	4.65-5.15	5.85-6.30	7.00-7.40	9.40-10.00	11.50-12.15	13.40-13.90	15.00-15.70	17.45-18.00	21.35-21.95
主な放送局	ラジオNIKKEI	熱帯地方のローカル局	VOA、国際放送、ラジオNIKKEI	アジア、アフリカ、ロシアなど	VOA、BBCなど国際放送	VOA、BBCなど国際放送	VOA、BBCなど国際放送	VOA、BBCなど国際放送	VOA、BBCなど国際放送	VOA、BBCなど国際放送
主な特徴			大出力局が多く、冬は欧州局が聴ける	秋から春、夜はアジアや中東局、早朝は欧州局	世界中の局が使用しているバンド	大出力の外国向け放送が聴ける	3000kmぐらい離れた場所への放送に最適なバンド	100kw以上出力の一流局が使用しているバンド	春から秋にかけて安定受信	

ラジオや通信に使われている電波の中で、短波は地上70～500 kmにある電離層に反射する特性を持っており、小さな出力で遠くまで送信できるという特徴があります。

短波以外の電波は電離層に吸収されたり、突き抜けたりしてしましますが、短波は電離層と地表との反射を繰り返しながら、地球の裏側まで飛んでいくことができます。

短波放送については、国際協定により、放送局ごとに使える周波数帯を割り当てることになっています。

この周波数帯のことを「メーターバンド」といい、これにより

世界の電波の混信を防いでいます。
本機が使用できるメーターバンドの内容は、上記の一覧表をご参照ください。
各メータバンドの周波数帯、主な放送局、主な特徴を簡単に紹介しています。

小さい出力で遠くまで送信できる短波放送ですが、一方では、電波の伝わり方が季節によって変化します。

夏は高い周波数、冬は低い周波数の方が良く伝わります。

そのため各放送局は複数の周波数を使うとともに、年に何回か周波数の変更を行っています。

また、混信が発生したときも周波数修正を行っています。

ラジオNIKKEIには、投資や株式のビジネス情報から、英会話などの教育番組や競馬情報などのエンターティメントまで、あらゆる情報が満載。

また、短波放送なので海外でも受信できます。

本機では、ラジオNIKKEIを選局スケール上の該当周波数に、黄色い囲みでNRBC1(第1放送)、NRBC2(第2放送)の表示をしておりますので、選局しやすくなっております。

第1放送 JOZ4 3.925 / JOZ2 6.055 / JOZ3 9.595MHz
第2放送 JOZ5 3.945 / JOZ6 6.115 / JOZ7 9.760MHz

<http://www.radionikkei.jp/>

持込修理

商品名	AM/FM/SW ₁ ~10 ハンディたんぱラジオ	★お買い上げ日： 年 月 日
型番(品番)	RAD-S520N (07-7928)	保証期間:本体1年間 (お買い上げの日から)
お客様	★お名前 様	
	★ご住所 〒 一	
	電話 ()	

修理×毛

販売店	★住所 店名 電話
	印

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。


株式会社 オーム電機
 〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>
 修理に関するご相談は [修理ご相談センターへ](#)
 電話受付 **048-992-3970** 平日 9:00～17:00
 土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-7928A